

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第42号—

令和4年2月28日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

図書ボランティアお礼の会

2月22日（火）に図書ボランティア「ともだちや」の皆様にお集まりいただき、オンラインによるお礼の会を開催しました。毎週火曜日の朝に行っている、ともだちやと保護者の皆さんによる読み聞かせは、「読書の楽しさを知る」ことで、「読書の習慣化」や「豊かな心の育成」が図られ、人間形成に大きく寄与しています。今後とも皆様の御理解と御支援をどうぞよろしくお願いいたします。



入学説明会

2月24日（木）に「入学説明会」を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、開催日を延期し、保護者のみの参加で実施しました。さらに、自由参加にして参加者の人数を減らし、感染対策を万全にして開催しました。次年度の入学予定者は13名です。4月8日（金）の入学式を楽しみにしています。



クラブ活動ボランティアティーチャー

本日、今年度最後のクラブ活動がありました。4つのクラブでは、ボランティアティーチャーの皆様にも、たくさんのことを教えていただきながら、貴重な体験をすることができました。地域の皆様の「子供たちのために」という思いを、保護者の皆様とともにしっかりと受け止め、感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

地域の方から感謝のお手紙をいただきました

2月21日（月）、市内の薄香にお住まいのご夫婦が来校され、5年生が田植えの時に偶然に交流があったお母様と5年生児童との交流について、感謝の意を伝えにお越しになりました。聞くところによると、お母様はもともと学校田の隣にあるお宅にお住まいで、体調を崩されて施設に入所されていて、住み慣れたご自宅に帰宅していた際に、たまたま5年生の田植えの学習に遭遇し、一緒に写真を撮っていただいたとのことでした。残念ながら11月にお母様は御逝去されましたが、5年生との短い交流をととても喜んでおられたとのことでした。感謝の意を手紙にいただきましたので紹介します。【裏面】

3月行事予定

- 7日（月）代表委員会、委員会引継ぎ
- 11日（金）お別れ集会、お別れ遠足
- 14日（月）卒業式総練習
- 16日（水）地区児童会、卒業式会場設営
- 17日（木）第17回卒業証書授与式
- 21日（月）春分の日
- 24日（木）修了式・離任式

津吉小学校の5年生の先生とみなさんへ

2月に入って寒さがきびしくなっていますが みなさんお元気
でしょうか？ 私は、下川富貴代と言います。

去年の6月25日に、北部の施設に入っていた義母を、実家
に連れて行った時、田植えを終えたさわやかな表情
の先生や、みなさんにお会いして、ずうずうしく写真に参加
させていただけました。私たち夫婦は、平戸の北部の湯呑
に住んでいます。時々、津吉に慣れた畑仕事を楽しんで
います。津吉に帰ると、稲の成長を楽しみ、からしの
ではばばに感動し、稲刈りを終えたのを見て、ホッとしたり
していました。良いしげきに感謝です

97才の義母は、実家に帰って畑を見るのが何よりも、
大好きな人でした。入退院をくり返していましたが
田植えの日は、元気でみなさんに会うことができました。
11月23日に帰らぬ人になってしまいましたが、大きく引き
伸ばしていただいた写真は、元気な姿の最後の写真です。
大切にさせていただきます。と思います。

有名な本の中にこんな言葉があります。

「人は自分がまいてあるものを必ず刈り取る」

植物にも当てはまりますが、私たちの決定や、どのように
行動するかによって、結果が出るという原則です。

「宝物」という言葉には、「田から生ま
れるもの」という意味があるそうです。
「田から生まれるもの」は、人の命を
つなぐ「作物」であり、田の作業から
生まれる「人とのつながり」です。米
作りは、今では機械化が進み昔ほど人
手はいらなくなりましたが、田植えや
稲刈りなどの米作りに係る作業には、
昔はたくさんの人の協力や手伝いが必
要でした。今回の下川様との交流は、
5年生の子供たちにとっても下川様
にとっても、まさに田から生まれた「宝
物」になったと思います。

田植えの時もアドバイスをしてくれた農家の方が、またね。
また、これからの成長に役立つことを教えてくださる先生や
ご両親がいますが、よく学び、良い決定や行動が
できるように祈っています。

またどこかで会う機会があると思いますが、わが村ら
声かけてください。『オミクロン』のせいで、いかに
不自由な学校生活を送っていると思いますが、かせほど
いかなるようか、十分気をつけてください。
主人の大輔も「よろしく。」と言っています。

2022年2月21日

下川大輔 富貴代

